



腰椎不安定性講習会

- 近年、欧米でも注目されている安定したすべり、不安定なすべりの鑑別の重要性 -
- 理学療法士としていち早く不安定性について臨床に取り入れた Paris 博士直伝の講習会 -

日 時 平成 26 年 9 月 7 日(日) 9 時から 15 時

講 師 佐藤友紀(セントオーガスティン大学指導者)

橋場貴史(日本徒手療法学会理事)

内 容

方法論(運動方法)や言葉をトピックスとして取り上げるのではなく、理学療法士の土台となる機能解剖から病態の理解について、最新の知見を含め紹介します。実技練習を含みます。

1. 最新の知見 - 安定したすべりと不安定なすべりの実際、すべりは必ずしも不安定性を示すわけではないことを研究報告から説明
2. 機能解剖 - 骨関節、椎間板、靭帯、筋など各組織の役割について説明
3. 症状、所見からの理学療法診断 - 解剖学的視点、臨床家の意見として一致度が高い症状、所見
4. 安定性運動の理論と実際
腹横筋のみでは安定化しないことを研究報告から説明
5. 不安定診断のための理学的検査
6. 安定性運動実技
7. 徒手療法との関係

会 場 KKR 北陸病院(石川県金沢市)

参加費 日本徒手療法学会 会員 7,000 円, 非会員 10,000 円

主 催 日本徒手療法学会

申し込み先 日本徒手療法学会 事務局

メール:jsmt@kaisei-hp.co.jp

申込方法 メールにて件名に「腰椎不安定性」と明記の上、

- ①名前 ②日本徒手療法学会 会員・非会員 ③所属施設名
- ④所属連絡先(住所・電話番号) ⑤ご経験年数
- ⑥返信先メールアドレス(携帯電話不可) ⑦領収証必要の有無
- ⑧日本理学療法士協会 会員番号

を明記の上、jsmt@kaisei-hp.co.jp までお送りください。